

新年に 年頭の



東通村議会議長
丹内 俊 範

新年明けましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、平成三十年の輝かしい希望に満ちた新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

また、平素から村議会並びに村政運営に対しまして、温かいご理解とご協力を頂いておりますことに、心より厚くお礼申し上げます。東通村議会を代表し、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年三月、越善村長におかれましては六期目のご当選を果たされ、引き続き村政を預かる責任者として、村民皆様のご信任を頂いたところであります。

また、これまでに二名の欠員があった村議会においては、川端一松議員、吉田光男議員のご両名を迎え、新たな委員会を構成し、私共議員の任期の折り返し地点を、通過したところでもあります。

一方、国政においては衆議院の解散による総選挙が行われ、多くの国民は政権与党である自民党の公約を支持した結果、第四次安倍内閣が発足し、長期の政権を担うことになりました。

自民党は衆院選の公約において、「原発を重要なベースロード電源として位置付ける」、また「新規制基準の適合性審査を終了した原発は、立地自治体の理解と協力を得て再稼働を進める」と明記しました。

資源小国である我が国において、企業の生産活動や、国民の快適な生活水準を維持して行くために、欠くことのできない原子力発電は、安全を大前提とし、基幹電源として一定の比率で稼働して行くことが必要不可欠であると認識しています。

私は、先の衆院選においては、一日も早い東通原子力発電所の運転再開、そして本格工事の再着工を自民党候補者に強く訴えました。

また、選挙後の十一月二十一日には、国会開会中の大島理森衆議院長や津島淳代議士を始め、県選出国會議員と懇談し、地域経済の実情を説明し、東通原発の早期の再開を要請したところでもあり、今後も粘り強く行政と歩調を合わせた要請活動を行って参りますので、皆様方のご理解を賜りたいと存じます。

ところで、昨年の村の主要な第一次産業である水稲については、夏場の日照不足・低温による影響で不稔障害が大変心配されましたが、その後は天候に恵まれ、作況指数は九七の「やや不良」と発表されたところでありました。

また、漁業のサケ漁においては、数量では例年並みながら、魚価が高値で推移したことから、水揚額は上回ったところでもあります。主力のイカ漁については、最も不漁であった一昨年を上回ったものの、長引く漁

獲量の不振に加え、燃油等の高騰による依然として厳しい情勢に、同じ生業を持つ者として、切迫した日々を過ごし、村の水産業の行く末に強い危機感を抱き、漁獲回復を願ったものであります。

その一方で、県内では5番目の新・ご当地グルメ「東通天然ヒラメ刺身重」が、当初の予想を上回る勢いで、デビューから五ヶ月目の十二月には五千食突破など、喜ばしく活気づく出来事もありました。

さて、国内の情勢に目を転じたとき、加速する少子高齢化や人口減少、また社会保障・年金、医療、介護の問題、更には財政再建等の課題が山積し、とりわけ地方の小規模自治体にとっては、いずれの課題も致命的な難題として急迫しています。

私は、昨年特に目を引いた出来事に、人口減少による議員のなり手不足により、議会に代わり住民が直接予算案などを審査する「村総会」の設置を一時検討した、高知県大川村の事例はまさに地方の現状を顕著に表した事例であり、同じ議会人として、もはや対岸の火事として見過ごす事のできない衝撃的な出来事でありました。

自主財源が厳しい我が村においても、加速する人口減少・若者の定住にあらゆる方策で対処しつつ、増大する資本整備・社会保障費等を的確に見据え、次世代を担う子供たちへ、

「ツケ」を先送りすることなく、誰もが「住んで良かった村」づくりに行政と一丸となり取り組んで参ります。

今年はまだ、村内への役場庁舎移転から三十年目の節目の年を迎えることになりましたが、私としては、これまで以上に村の祭典・行事に議会も積極的に参画し、地域を元気に盛り上げ、先人達が懸命に築いた、よき故郷をしっかりと責任を持って、次の世代へ引き継ぐために汗をかきことをお誓いします。

我々議会には、地方自治における二元代表制として、大きな権限が付与されていますが、議員一人ひとりが常に自主・自立の精神を養い、それぞれが村民の負託を受けた代表であることを謙虚に認識し、旧弊に固執することなく議会の改善・改革に務めることが、結果として住民に支えられる議会になると信じています。

村民の皆様方の声に真摯に耳を傾け、同じ目線を保ち、何より村民の福祉の向上を願い、そして限りない東通村の発展のために、今後も皆様と寄り添う、開かれた議会づくりを目指して参りますので、本年も変わらぬご支援と、ご協力を心からお願ひ申し上げます。

ここに、村民皆様の今年一年の、ご多幸とご繁栄を心からお祈りし、新年のご挨拶といたします。